



8月2日(火)の午後、坂祝町子育て環境整備ワークショップ「つどい場 ツクリバ」の第2回は先進事例視察として、小牧市と北名古屋市の子育て支援拠点を見学に行きました。この日の参加者は、ワークショップメンバー、教育委員さん、議員さん、事務局スタッフも合わせて総勢26名でした。

暑さが厳しいこの日、中央公民館に集合し、マイクロバスに乗り込むと、まず小牧の「味岡児童館・ぱるもあじおか」へ。施設見学のアト、施設運営に関わるNPO職員さんから詳しい説明と質疑に答えていただきました。2つめの視察地、北名古屋市「児童館きらり」も同様に視察。帰りのバスでは激しい雷雨に見舞われましたが、個性の異なる2施設からは、坂祝町でも活かそうなことが、たくさん学べましたね！

# 2 先進事例の視察に出かけよう！

2016/08/02 (火) 13:00~18:00 坂祝町~小牧市~北名古屋市~坂祝町

## 1 小牧市味岡児童館 「ぱるもあじおか」



外観



築山



地域交流サロン



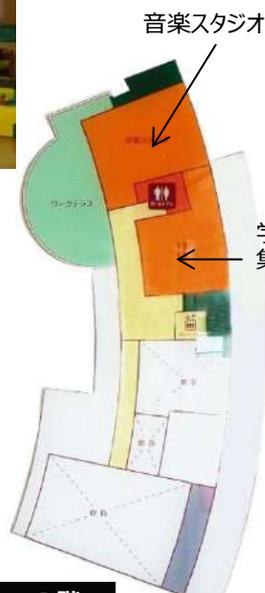
遊戯室



1階



子育て支援室  
パパママサロン  
事務室



2階



音楽スタジオ

学習室  
集会室



工作受付コーナー



図書コーナー

- ・「ワークショップの声」を設計に活かしている施設。
- ・NPO 法人「10 人村」が指定管理者として運営。
- ・「地域ぐるみでの運営」に力を入れている。
- ・スタッフに「サポーター」が加わって企画運営。
- ・今年6月の総利用者数、約6000人。
- ・中・高校生の利用が多い(小学生より高校生が多いことも)。

### 見学者の感想(アンケートより)

- フリースペース、空間の間取りなど、全体のレイアウトが良かった。
- 限られたスペースを利用し、ゆったりとしたリラックスして毎日来たくなる、生活の一部のような施設、素晴らしかった。
- 手作り感がいっぱいあったり、子どもや利用者のニーズがしっかり反映されててあたたかく落ち着いた感じがした。
- 「子育て支援」という目的やその運営に対する考え方がブレないというところに魅力を感じた。スタッフの重要性を感じた。

# 2 北名古屋市児童センター 「きらり」



プレイルーム



図書室



地域交流コーナー



1階



上部が吹抜けのロビー



2階



わくわくルームA・B



音楽スタジオ



広場



西子育て支援センター「にここ」

- 児童センター、子育て支援センター、ファミリーサポートセンターの3つの機能を備えた施設。
- 児童センターは北名古屋市の子育ての拠点。
- 今年は高校生の利用率が高い。勉強したり卓球したりしている。
- おやつタイム（3時から4時）を設けている。弁当は食べてはいけませんが、今年から事前登録制でお弁当を食べられるようにしている。
- 職員、ボランティア、民生委員などいろんな人が運営に関わっている。責任者同士で話し合って運営している。



施設管理者のお話を伺い、質疑応答タイム

## ひとことアンケートより

子育て支援組織の全体像を作成し、取り組まなければならない／まずは設置目的や運営理念等を明確に持つことが大切であると感じました。担当者、責任者等の熱意によって、利用状況も大きく変わってくることを実感しました／坂祝では療育を中心に据えて考えたい／多機能を持たせた施設にするか、特化した機能施設にするかよく検討する必要がある／児童館は小さな子ども、小学生までの利用というイメージでしたが、未満児から大人まで気軽に利用でき、集いたくなる場所が坂祝町にも必要だと思った／多機能施設も見学し、削っていくイメージで最終的に坂祝に必要な施設を考えていけると良い ほか

途中からの  
参加も  
大歓迎！



坂祝町教育委員会 こども課

電話：0574-26-7151

FAX：0574-26-7097

E-mail：kodomo@town.sakahogi.gifu.jp

